

# 新 しん 緑 みどり ニュース



## 病院の理念

確かな医療技術  
やさしい対応  
地域への貢献

さんきかい よこはましんみどりそうごうびょういん  
医療法人社団三喜会 横浜新緑総合病院  
〒226-0025 横浜市緑区十日市場町1726-7  
TEL. 045-984-2400(代表) FAX. 045-983-4271  
発行 地域医療連携室 TEL.045-984-6216(直通)



## 退院支援部門について

近年、住み慣れた地域で自分らしい人生を全うできる社会を目指した地域包括ケアシステムが構築されています。病院はそのシステム的一端を担っており、地域と病院を繋ぐ役割として地域医療連携室があります。

### 退院支援部門

地域医療連携室の中には、退院支援部門が設置されています。医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）5名と療養支援看護師1名で構成され、外来通院中の方から入院治療し退院を控えた患者さま・ご家族をサポートしています。具体的には、

- 1) 療養中に発生する心理的もしくは社会的な問題解決のための支援
- 2) 経済的な問題を抱えた方の相談や支援
- 3) 入院当初より生活や療養環境を考慮した退院準備や調整の支援

などを行っております。

### 退院後の暮らしに向けて

入院治療に専念したあと退院を迎えるに当たって、多くの方が少なからず不安を抱えていることと思います。その不安を最小限にして生活の場に戻れるよう、療養環境を整えることが私たちの役割です。

病気や障がい、老いと向き合いながらどのように暮らしていきたいか…患者さま・ご家族の思いをお聞きし、その意向を可能な限り叶えていけるよう一緒に考えてまいります。

「介護ベッドを使用したい」「デイサービスを利用し、人と交流を持ちたい」というご希望があれば介護サービスを受けるための説明や連絡・調整を行い、「生活の場に合わせたリハビリをしたい」「体調管理のために看護師に自宅まで来てもらいたい」というご希望には訪問看護ステーションをご案内します。また、お身体の状態や環境の変化等で新たな生活場所が必要となった場合には、患者さまやご家族のご希望をお聞きしながら、その方に適した施設や病院をご紹介します。

### 退院前カンファレンス

患者さまが病院から地域の暮らしにスムーズに戻るためには、病院と地域との連携が何よりも重要です。当院では、地域の生活をサポートする医療・介護職の皆様との退院前カンファレンス（話し合い）を積極的に行っております。

2018年4月～12月は、居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）や訪問看護ステーション、訪問診療所や高齢者施設など160事業所と退院前カンファレンスを実施しました。（2017年度 190事業所）

治療の場から生活の場への移行を円滑にし、患者さまやご家族が穏やかに過ごす日々を大切にいただけるよう皆様の思いに寄り添い、適切な支援に努めております。



療養支援看護師 千葉 恵

## 糖尿病教室 開催案内

2 / 5 (火)	糖尿病の基礎知識	糖尿病専門医
2 / 15 (金)	食事療法について	管理栄養士
2 / 22 (金)	薬物療法について	薬剤師
3 / 1 (金)	生活上の注意点 運動療法について	看護師 理学療法士

日頃、糖尿病療養に関わっているスタッフが糖尿病の基本について分かりやすくお話しします。関心のある方は、どなたでもお気軽にご参加ください。申し込み 045-984-2400(代)



- 時間 15～16時
- 場所 当院3階 食堂
- 受講料 無料

\* 1回目のみ曜日が異なります、ご注意ください。



## 「患者さま・ご家族の皆様」 「患者相談窓口」をご活用ください

病院を利用される皆様の中には、不安を抱えながら来院される方もいらっしゃるのではないのでしょうか。また、行き違いや説明不足によって不安が不信・不満に繋がることも考えられます。そのような状況を解決するために、当院では「患者相談窓口」を設置しております。

看護師をはじめ多職種の方が連携を取り、2017年度は287件の相談をお受けしました。患者さまと病院の仲介役として一人一人の気持ちに寄り添いながら、安心して治療が受けられるようサポートしていきたいと考えています。担当者一同、皆様からのご相談をお待ちしております。

患者サポートチーム 看護部 谷川 千鶴子

- 受診相談：どこに受診したらいいの？
- 医療相談：病気や検査・治療について
- 看護相談：看護や介護の仕方、療養生活について
- 医療福祉相談：退院後の生活や医療費、介護保険など
- その他：当院に対するご意見、苦情など

《相談窓口》 4階外来受付カウンター①番  
「地域連携窓口・患者相談窓口」

《利用時間》 月～土曜日 ※日・祝日は除く  
9時～17時（土曜日13時まで）



## シリーズ健康豆知識 感染性胃腸炎の時の水分補給について

### 《経口補水液の作り方》

水1ℓ・砂糖40g（大さじ4と1/2）・  
塩3g（小さじ1/2）を混ぜる

※飲みにくい場合は  
レモン1/2個分の  
しぼり汁を加える



冬は感染性胃腸炎が流行しやすい季節です。下痢や嘔吐が続くと体の水分が失われるため、こまめな水分補給が必要です。腸で吸収しやすい経口補水液がおすすめですが、市販品がない時には家にある材料で簡単に作れます。

《ポイント》 身体が吸収しやすい浸透圧にしているため、市販のスポーツドリンクと比べて糖分が少なく塩分が多いことが特徴です。

- 熱すぎても冷たすぎても腸に刺激になるため常温で飲むことをおすすめします
- 食中毒予防のため当日中に使い切りましょう

栄養科 主任 古屋 詠子（管理栄養士）



## TBSテレビ「NEWS23」 向井院長にインタビュー

向井院長がTBSテレビの取材を受けました。ゴールデンウィーク10連休の医療現場への影響についてインタビューに答え、1月14日（月）同局の番組「NEWS23」の社会ニュースの一場で放映されました。



2019年 みんなの健康講座 主催：横浜新緑総合病院 ※参加費無料

2019年2月16日（土）シリーズ糖尿病 第26回 「今日から実践！！運動で防ごう、生活習慣病と転倒」

講師：リハビリテーション部 主任 菊池 優（理学療法士）

サイレントキラーと呼ばれる生活習慣病。最近では、生活習慣病は転倒のリスクにも関連があると言われています。今回は運動の必要性や効果について、理学療法士が皆様と一緒に考え、個別の悩みも解消していきたいと思えます。また、実際に身体を動かしながら、エクササイズをご紹介します。この機会に運動習慣を身につけ、転倒予防の意識を高めていきましょう。



2019年3月16日（土）「ガンコな咳」 講師：横浜新緑総合病院 副院長／内科部長 堀地 直也

会場 十日市場地区センター 2階中会議室（十日市場駅より徒歩5分）

時間 午後1:30～2:30 問合せ 地域医療連携室 045-984-6216（直）045-984-2400（代）

当院の詳細はホームページをご覧ください <http://www.shinmidori.com/>

QRコード→

